

事業所名

子ども発達さぽーとセンターあゆみ園

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025 年

3 月

17 日

法人（事業所）理念		子どものあゆみで一歩ずつ～小さな一歩を自信に変えていく療育									
支援方針		発達に弱さや遅れのある子どもたち、障がいが発見された子どもたちに、遊びや集団の中で育ち合いを大切にした療育を行い、その成長、発達を促す。 保護者が育児の悩みを出し合い、保護者同士が語り合える場を提供するとともに、育児に必要な知識や子ども理解を深めることができるように子育てを支援する。 医療・福祉・保育・教育などの関係機関と連携を取り合いながら、子どもと保護者が地域でよりよい生活を送ることができるように支援する									
営業時間		9時		30分から		16時		0分まで		送迎実施の有無	あり
		支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	”自分でやりたい”気持ちを大切に、「できた!」と感じる経験や手応え、自信を積み重ねていくことで、自分から気持ちを向けて、生活動作に取り組み、自分でできることが増えていくように支援します。									
	運動・感覚	未歩行のお子さんには、職員にしてもらう遊びや体操などの中で、いろいろな姿勢をとる経験を体幹の育ちに繋げながら、立位の安定に向けて取り組みます。 立位がとれる場合には、さらに身体を使う遊びの中で楽しそうな雰囲気を感じ“やってみたい”という気持ちを膨らませることを大事にしていきます。そして、身体を動かして遊ぶ楽しさを豊かにするとともに、バランスをとったり、遊具や目的に応じた身体の動かし方ができるようになっていくよう支援します。									
	認知・行動	いろいろな素材に触れることを通して、一つ一つのものの感触や、変化することに興味を持ち、手指操作を積み重ねていきます。またモノを変化させる楽しさとともに、手指の細かな操作が上手になったり、イメージしたものを作る力に繋がっていくよう取り組んでいきます。									
	言語 コミュニケーション	発声や言葉、ジェスチャー、サイン、絵カードなどを組み合わせ、自分の思いが“伝わる・分かってもらえる”という経験を積み重ね、“伝えたい”思いが膨らみ、やりとりの力へ繋げていけるよう取り組みます。そして、友だちや職員とのお喋りをたくさん楽しみながら、話す力が向上し、相手の言葉を聞いてコミュニケーションをする経験を積み重ねていけるよう支援します。									
	人間関係 社会性	大人との楽しい遊びを通して、してもらえることを期待したり、一緒に遊ぶことが面白いなど、人と関わることの楽しさを膨らませるとともに、安心できる大人の存在を広げます。 そして、友だちと同じ場で遊ぶことで、友だちのしていることに気持ちを向けたり、一緒にいることが楽しい気持ちを育み、その中で、お友だちの気持ちにも気づけたり、相手からの提案や関わりを受け入れていけたりする力に繋げていきます。									
家族支援		保護者支援担当職員を配置し、グループ懇談や個人懇談を実施します。悩みや疑問などをお伺いし、またご相談にのりながら、子どもさんの成長をご家族とともに考えていきます。					移行支援		・併行通園先への訪問を実施し、子どもさんの現状や課題について確認しあいます。 ・就学支援の中で、小学校の先生にあゆみ園を来訪頂いたり、子どもさんの様子や課題について確認しあいます。		
地域支援・地域連携		併行通園される保育園・幼稚園と連携を図ります。また、相談支援事業所との情報共有を行い、相談支援事業所がケース検討会などを実施される際には協力・参加していきます。					職員の質の向上		成長・発達に応じた支援についての専門研修、階層別研修、及び権利擁護・虐待・身体拘束についての研修、その他、安全や感染症に関する研修などを実施します。		
主な行事等		プール遊び（夏季） お芋ほり、遠足、クリスマス会、卒園式（毎日通園） 遊びと相談の会の実施（あゆみ園に在籍していない、運動面に課題のあるお子さん向け）									